

富める青年の悲しみ

マタイによる福音書一九章13〜22節

もし完全になりたいのなら、行って持ち物を売り、貧しい人々に与えなさい。そうすれば、天に宝を積むことになる。

それから、私に従いなさい。(21)

一人の青年がイエスに質問しました。「永遠の命を得るには、どんな善いことをすればよいのでしょうか」(16)。イエスが神の戒めを守って生活するように教えると、それらの戒めはみな守っていますと彼は答えました。そこでイエスは今日の聖句にあるこの驚くべき言葉を語られたのです。このイエスの教えは、キリスト者は皆このようにすべきであるという意味ではありません。主イエスは、自分は律法を完全に守る正しい人間だというこの青年の誤った考えを砕き、不完全な自分、子どものように無力な自分に気付かせようとされたのです。なぜなら、神に頼るしかないほどに自分の無力さを自覚した人こそ、神の国にふさわしい存在だからです。自分の正しさを誇りとするのではなく、自分の無力さを素直に認め、主に寄り頼む私たちでありたいものです。